刑法総論 II

科目ナンバリング　CRL-102
選択　　2単位

増田　隆

1. 授業の概要（ねらい）

「およそ犯罪が成立するためには、どのような要件を充足する必要があるのか？」、すなわち、犯罪の一般的成立要件について、実際の裁判例を可能な限り多く紹介しながら、わかりやすく説明したいと思います。政治学科の学生向けの授業なので、細かい解釈論よりも、学説の歴史的流れを重視して学びます。

2. 授業の到達目標

①刑法学は、他の法分野よりも学説の対立が激しく、難解だと言われますが、
教科書を通読して自習する習慣を身につけてもらうこと。

3. 成績評価の方法および基準

筆記試験及び平常点。

4. 教科書・参考文献

教科書
松原芳博　『刑法概説』（2018年）　成文堂
山口厚ほか　『刑法判例百選Ⅰ -- 総論』（7版：2014年）　有斐閣

5. 準備学修の内容

教科書の該当箇所を通読してください。

6. その他履修上の注意事項

知識の単なる丸暗記に終始することなく、「なぜ？」と自問する探求心を、刑法を素材に身につけてもらいたいと思います。授業に出席して学ぶことはもちろんのこと、他人と場所及び時間を共有していることを常時意識して、私語を慎む等各自自覚してください。

7. 授業内容

【第1回】　過失犯論（1）
【第2回】　過失犯論（2）
【第3回】　違法阻却事由（1）
【第4回】　違法阻却事由（2）
【第5回】　違法阻却事由（3）
【第6回】　責任論
【第7回】　責任阻却事由（1）
【第8回】　責任阻却事由（2）
【第9回】　未遂犯論（1）
【第10回】　未遂犯論（2）
【第11回】　共犯論（1）
【第12回】　共犯論（2）
【第13回】　共犯論（3）
【第14回】　共犯論（4）
【第15回】　復習